

令和元年度 市民意見交換会（経済建設常任委員会）

《令和元年7月18日》

意見交換の相手団体：竜野駅周辺地区まちづくり協議会・専門委員会

意見交換会のテーマ：今後の竜野駅周辺の活性化について

主な意見（一部抜粋）

まちづくり協議会の役員会は、平成25年8月21日に発足し、各自治会の役員会で構成。

まちづくり協議会は、その実行部隊として専門委員会を設置し、3チームを構成し、施設の検討、地域コミュニティ、組織の運営について調査研究している。

また、昨年度は揖保川防災安心大作戦として、市が作成している防災マップを、11枚に分割し、避難スイッチ、防災等について、皆さんと一緒に確認した。

基本的に、我々は住民主体で、活力あるまちづくりを進めていくことを検討している。



(1) 竜野駅周辺地区の大きな課題としては次の3点となる。

- JR山陽本線及び国道2号により、南北に市街地を分断されている問題
- 水害、排水の問題
- 人口減少が進んでいる問題

(2) 住民にまちづくりアンケート等を3回実施。

- 竜野駅の利用者450人にインフラについてヒアリングを実施。
- 地域の賑わいと活性化（拠点施設、駅周りに必要店舗）について
- ワークショップの開催 テーマ「みんなでつくろう10年後」

(3) 竜野駅周辺地区まちづくり協議会から意見

- 地域の課題を考えるため一本化された相談窓口の設置が望ましい。
- 行政との連携をどうすれば具体的に行えるかを考えている。
- 市内のまちづくり協議会同士が情報交換できる場が必要である。
- 竜野駅周辺地区は、駅を持ちながら、活性化できていない。
- さびれた地区に感じる。
- 人口減少に対し、企業誘致に力をいれてほしい。
- 市域の拠点、交流施設の活動団体として、専門委員会を立ち上げた。
拠点となる交流施設を設け、活動を活性化したい。
- 行政サービス等も含む駅舎の活用も視野に入れ取組み、行政とのタッグによる実施を考えたい。

《令和2年2月3日》

意見交換の相手団体：たつの市集落営農連絡協議会

意見交換会のテーマ：たつの市の農業の現状と対策について

主な意見（一部抜粋）

【参加された営農組合における問題点、今後の課題】

- ①高齢化で農業後継者が減少している。5年、10年先を見据えた農業政策を考えることが必要。
- ②農地の荒廃が目立ってきている。
- ③圃場整備がされていない田、非農用地についても、管理できていないケースが出ている。
- ④農地の草刈等が、定額で管理できる仕組み作っていただきたい。
- ⑤営農組織から法人化したことにより、民間企業及び市職員についても、他に収入を得てはいけなとあり、農業作業に出ると手当（時給）が入るという理由から作業に出てもらえないので人手不足の原因にもなっている。
- ⑥各営農で連携をした農業を考え広域で事業をしなければならない。市としても支援をお願いしたい。
- ⑦国の施策、補助事業は、県を通し、市が窓口とり実施される。全国一律でなく、国が求める要件により点数化され上位から採用されるため、市の協力が必要である。
- ⑧学校給食センターでの地産地消について、地元の農産物をもっと利用できる仕組みを検討していただきたい。



《所感》

市内の農業実態を聞き、多くの課題があることを体験した。今後、農業の知識を高め、政策に生かす必要があると実感した。委員や相手団体の方からも意見交換会は有意義であったとのことで2回、3回と継続すべきと感じた。

今後、委員会として農業団体の要望や、問題に対しては国や県に積極的に訴えていく取組が必要と考える。